



2024年度版 住宅トレンド情報

外観編 サンプル

戸建住宅と外装材の最新動向分析

2025年 1月 20日

2024年度年住宅トレンド情報 外観編

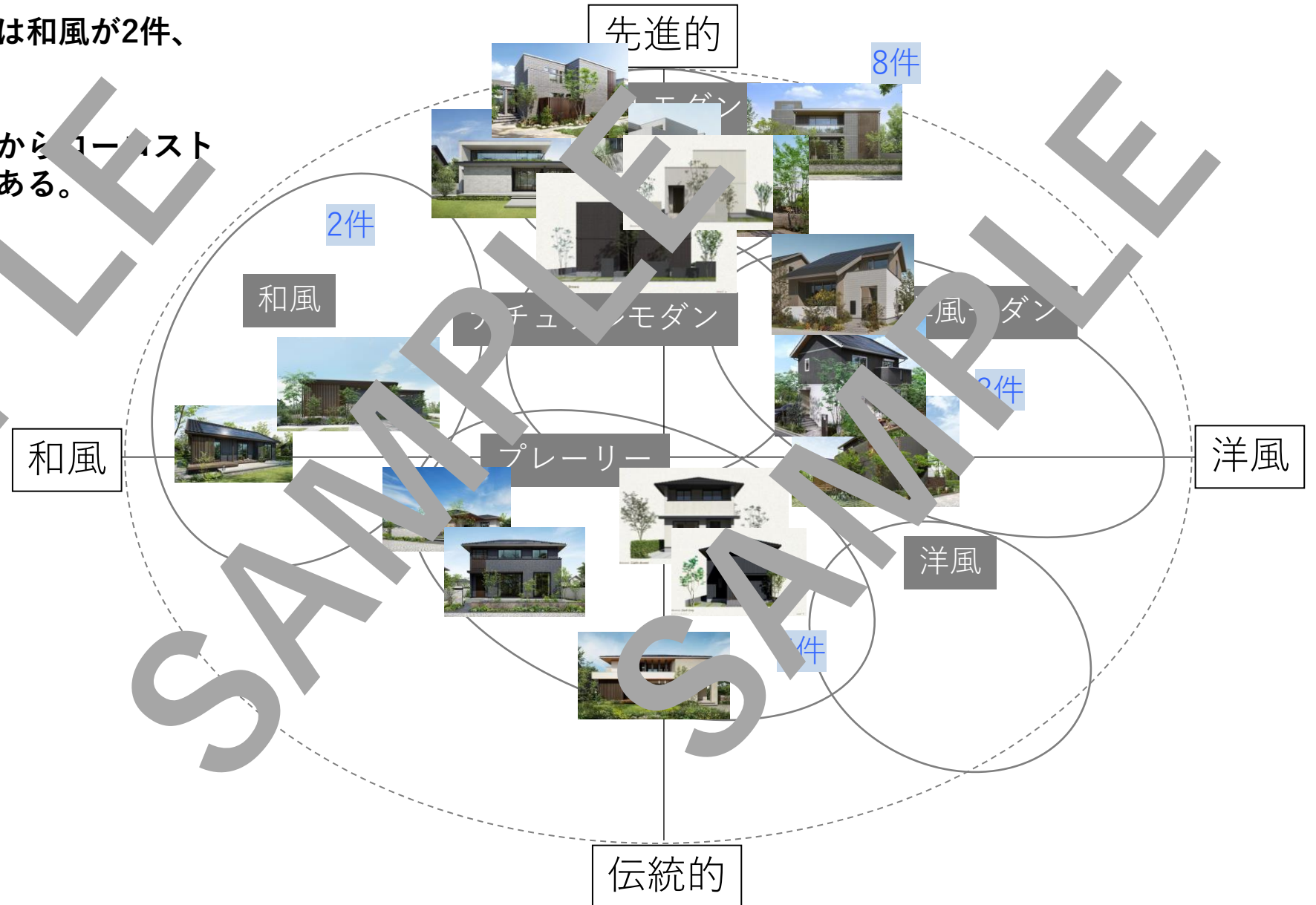
- I 大手ハウスメーカー最新動向
2022年大手各社新商品のアップデート版。外観スタイルやカラー傾向を探る。
- II 「こだわりの注文住宅」動向
前回に引き続き、2024年版のグッドデザイン賞受賞の戸建住宅作品、外装材メーカーの施工例コンテストの入賞作品を取り上げ、トレンドに敏感なビルダーや設計事務所のデザイン傾向を分析する。
- III 建売分譲住宅動向
今回は、ポラスグループ、オープンハウス、アーレックスをとりあげた。
- IV デザイン住宅を手掛ける設計事務所・ビルダーの傾向
代表的な12社について施工事例を収集し、傾向を解説した。
- V 窯業系大手2社の2024年版の新商品の定点観測分析
- IV 考察

3.分析対象商品 2023年12月～2024年11月

No.	メーカー名	商品名	特徴	発売時期	画像点数
1	大和ハウス工業	xevoΣ PREMIUM SMILE Edition	富裕層をターゲットとした創業70周年記念鉄骨系住宅商品	2024/4/19	1
2		PREMIUM GranWood SMILE Edition	同じく富裕層をターゲットとした創業70周年記念木造住宅商品	2024/4/19	1
3	旭化成ホームズ	「RATIUS RD余白の在る家」	大面積の壁、シェルウォールが特徴的な「3つの空間」に豊かな暮らしを提案	2023/12/31	1
4	積水化学工業	グランツーユー 平屋 つながる暮らし	軒下大空間でうちとそとを緩やかにつなげた木質系平屋住宅	2023/10/14	2
5		北海道専用户建住宅 GREEN MODEL-N	環境フラッグシップモデル『GREENMODEL』シリーズの多雪エリア商品	2023/10/14	1
6		コンセプトデザイン平屋 Heim (ハイム・ワイワン)	セキスイハイム九州からの移住子育て向けデザイン平屋	2024/2/19	2
7		鉄骨三角屋根の家 (ターム・ブライ)	小屋裏のある鉄骨三角屋根の家	2024/4/16	1
8		グランツーユー noMi (このみ)	子育て世帯に合わせた木のぬくもりを感じる高性能木質系住宅	2024/5/20	1
9		ザ・デザイナーズハウス	「デザイン×高品質×スマート」を軸にハイエンド層への提案を強化	2024/6/3	2
10		新スマートハウス ステータスプラス	進化したスマート性能で多目的なうちと空間を充実	2024/10/19	1
11		ミサワホーム	SMART STYLE Resisie	2023年に発売した仕様に加え、平屋を含む3タイプのを追加した企画住宅	2024/4/19
12	パナソニック	ファミナセレクト プレミアム	1階取得層をターゲットにしたセミオーダー商品	2024/4/5	1
13	ホームズ	カサハタ平屋 断熱等級7モデル	断熱性能最高等級7に対応する平屋の戸建住宅	2024/4/19	1
14	トヨタホーム	SINCÉ BR (シンセ・ビス)	20～30代の子育てファミリーをターゲットにコストパフォーマンスをツ級	2024/9/5	4

※積水ハウスと三井ホーム、住友林業、タマホームは新商品なし

モダンに次いでプレーリー、今回は和風が2件、
 洋風モダンも3件カウントされた。
 総二階の規模の小さいものや
 寄棟屋根のプレーリーは、邸宅風から1階ポスト
 の総二階までのバリエーションがある。



■2023年

●WARM、COOL軸の中心に分布



■2024年

●COOL & HARD領域に集中



■分譲住宅「プライバル 天王台」(千葉県)



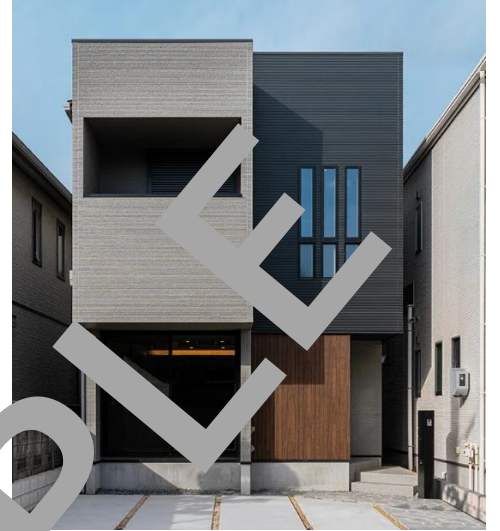
内と外の関係性を重視した2棟の分譲住宅

千葉県我孫子市の分譲住宅。木目調の軒天とフェンス、室内の木目が連携し、内と外との関係性を重視した設計となっている。
明度の高いサイディングを組み合わせ、閉塞感のない外構とともに、小規模住宅としてのみならず、

白ベースにモノトーン使いで、有彩色は木目のみといったパターンが多い。凹凸に変化を付けながら、張り分けている。



愛知県豊田市



愛知県名古屋市



愛知県名古屋市



愛知県東海市



愛知県名古屋市

1995年創業。神戸を中心に注文住宅の設計事務所を創業。2004年に関東圏に進出し、東京や横浜などに事務所を開設。以来、関東、関西、東海地区を中心にスタジオを展開する大手設計事務所に成長。独自の設計の注文住宅に定評がある。

→スタイリッシュデザイン、自然素材



平屋に見える2階建の邸



紫翠の棲

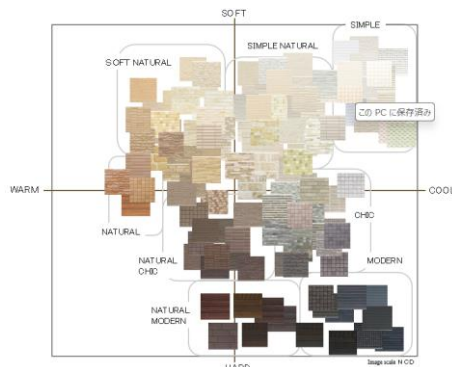


内外の繋がりを持たせた自然を感じる住まい。



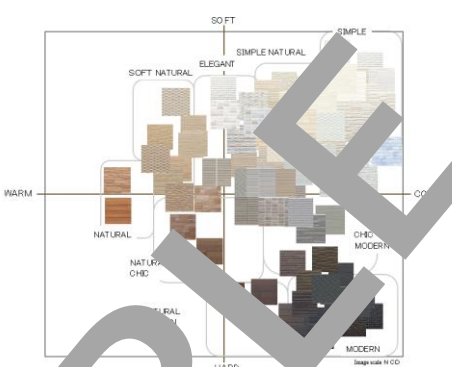
2013年～2024年の推移

2011年



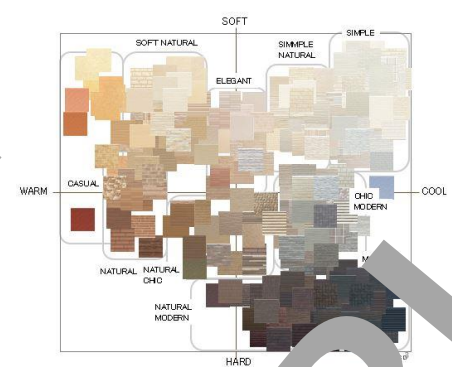
軸の中心、ソフト方向のナチュラルイメージが多い。

2012年



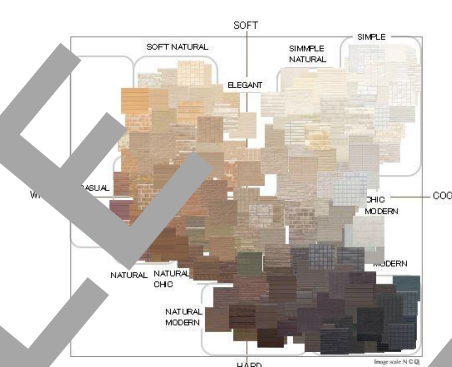
COOL×SOFT方向にボリュームが増す。白が増加

2013年



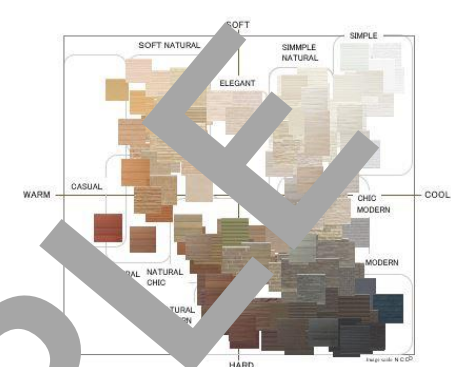
WARM×SOFTゾーンが復調。黒、ダークブラウンの拡大

2014年



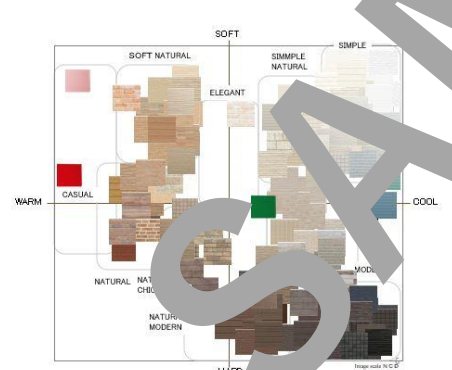
WARMゾーンのナチュラルカラーから無彩色にかけてのグラデーション的な広が

2015年



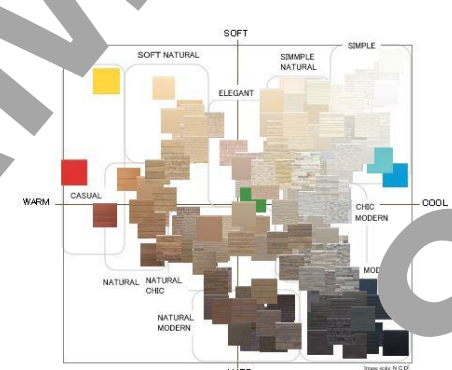
再び低彩度化が進行。COOL×SOFTゾーンがやや減少

2016年



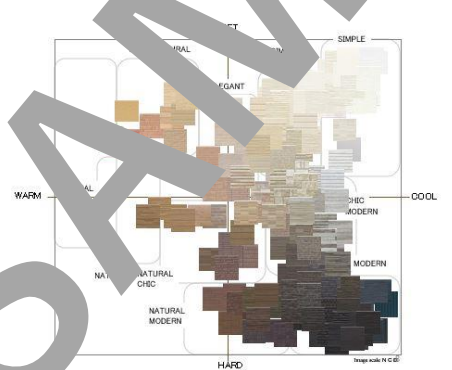
低彩度化が進行する一方、赤、グリーン、ブルーなどの高彩度色が出現(非住宅向け)

2017年



高彩度色が継続して出現

2018年



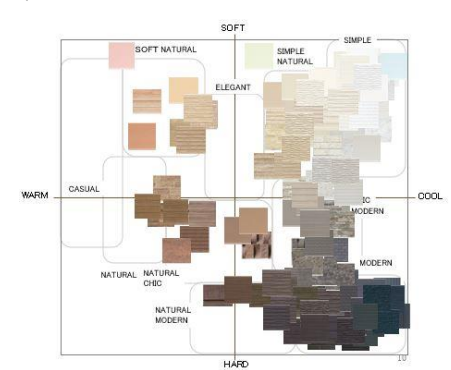
COOLゾーンを中心とした低彩度傾向が継続

2019年



低彩度傾向が継続。ダークブルーが出現

2021年



低彩度傾向が継続。SOFTゾーンにパステルトーンが出現

※2020年は分析なし

2024年 度版住宅トレンド情報 外観編

戸建住宅と外装材の最新動向解説

本レポートの著作権、販売権は株式会社 日本カラーデザイン研究所に帰属します。

株式会社 日本カラーデザイン研究所 NIPPON COLOR & DESIGN RESEARCH INSTITUTE INC.

〒113-0033 東京都文京区本郷3-5-2 U biz本郷 6階
TEL.03-3818-0071(代)FAX.03-3818-0622

3-5-2, HONGO BUNKYO-KU, TOKYO, 113-0033 JAPAN
PHONE:03-3818-0071 FAX:03-3818-0622

<http://www.ncd-ri.co.jp>